

新しい会員枠として「Web会員」を作ったのお話がありました。

シンポジウムの締めくくりには、又村氏より活性化に向けた全育連としての取組の方向性として、保険事業を通じて新規会員獲得をサポートすることや児童期の親御さんに向けた研修会のコンテンツを拡充すること、また、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所を団体会員にする案の説明がありました。育成会活動の活性化のために各地域で取組んでおられることを大阪市育成会でも参考にして、活動を工夫していきたいと思えます。

冒頭のご挨拶では、近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の後藤会長が、今回の研修会の主管となった和歌山県手をつなぐ育成会は、過去に1度存続の危機があり、火が消えかけたこともあったが、再度復活し新宮・東牟婁育成会が中心となって活動を続け、今日の日を迎えることができ、応援している近畿の仲間として大変嬉しく思いますと述べられました。今後も近畿ブロックの2府4県2政令市が、協力し合いながら発展していけることを願っています。

**「3月度支部連絡会&会員懇親会」を開催しました**

3月21日(木)に4年ぶりに懇親会を開催しました。

今回はこれまでの懇親会とは趣きを変えて会員の皆様同士で楽しくおしゃべりする機会を持ちたいと思い、3月の支部連絡会の日にたかつガーデンで行いました。

支部連絡会の後、軽食をお楽しみいただきながら各テーブルでは日頃の思いや、これからの育成会活動についてお話に花が咲き、和やかに親睦を深めることができました。

ご参加いただきまして有難うございました。



**【支部連絡会&会員懇親会/たかつガーデンにて】**

**令和6年度 造幣局特別観桜会にご招待いただきました**

4月4日(木)に令和6年度造幣局特別観桜会が開催され、当会から32名がご招待いただきました。

当日は、花曇りで桜の開花は全体の3割程度でしたが、参加された皆さんは「桜大好き!」と笑顔満開で一足早い桜の通り抜けを満喫されていました。



**【東成育成園 西浦有香様とお母様】**

1883年(明治16年)から始まった桜の通り抜けは今年で141年を迎えるとのこと。今年は「松前薄重染井」(まつまえうすがさねそめい)という名前のおとり可憐で美しい新種を含む141品種340本を観ることができました。“今年の花”は「大手毬」(おおてまり)という見事な八重桜だそうですが、開花はもう少し先のようなでした。

**【通り抜け風景】**



**【旧正門・詰所とガス灯】**

「造幣局の桜の通り抜け」は造幣局門内に入場できる特別な日です。桜とともに創業当時のままでの姿を残す旧正門・レトロな詰所やガス灯、造幣博物館など風情ある建物を観賞しながら思い出に残る一日を過ごすことができました。

